

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



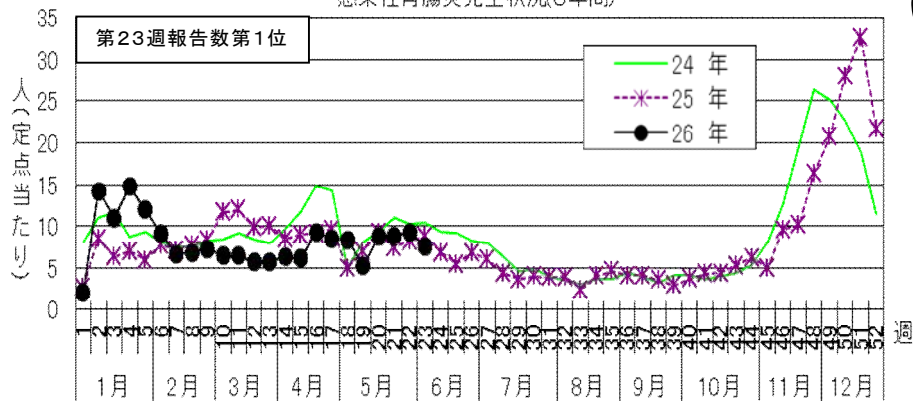
KAWASAKI CITY



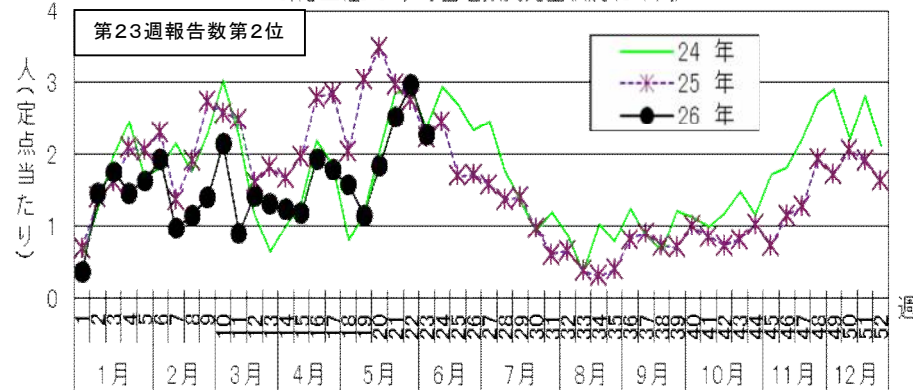
平成26年6月2日（月）～平成26年6月8日（日）〔平成26年第23週〕の感染症発生状況

第23週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘・突発性発疹でした。  
 感染性胃腸炎は定点当たり7.52人と前週（9.27）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.27人と前週（2.97）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。  
 水痘は定点当たり1.12人と前週（1.21）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発疹は定点当たり1.12人と前週（0.91）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## これから気をつけたい感染症～手足口病・ヘルパンギーナ～

これからの季節は“手足口病”や“ヘルパンギーナ”など、いわゆる「夏かぜ」と呼ばれる感染症の患者報告数が増加します。原因はコクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど様々ですが、同じウイルスでも型によって症状が異なる場合もあります。

### 手足口病の症状

主に手のひら・足のうら・口の中に水疱性の発疹がみられ、熱が出ることもあります。

### ヘルパンギーナの症状

38～40℃程度の高熱を伴い、のどの奥に白い水疱性の発疹がみられます。

口の内の痛みで飲食しにくくなるため、脱水症に十分注意する必要があります。

